



長門市の推進構想「長門の未来を託す 子どもたちを育てる」

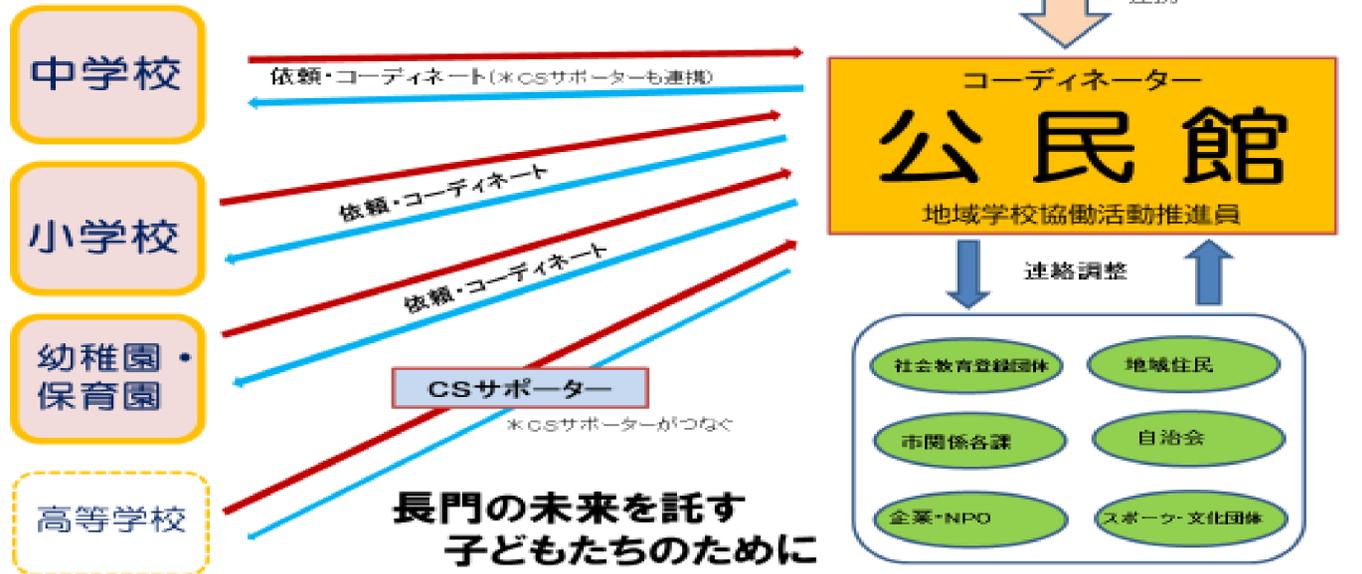
- 地域連携教育の成果と課題
 - <成果> 児童生徒を交えた熟議を市内全ての学校で実施し、熟議前にねらいやビジョン等を参加者で共有することで充実した活動につなげることができた。
 - <課題> 各校で活動後に、ねらいや効果に対する分析や検証をする協議の場を設定することや、そこに子どもの思いを反映させることが課題である。
- 課題解決に向けた重点取組事項
 - 新しい取組を考えるだけではなく、実際に取り組んでいることの精選を目的とした協議の場を、学校運営協議会等で設定し、「学校・地域連携カリキュラム」の再整理を図る。
- 重点取組事項の進捗を図る指標

取組状況を把握するために、下記の項目でアンケート調査を行う。

 - 指標Ⅰ 再整理したカリキュラムが、子どもの思いや身に付けさせたい資質・能力の育成に寄り沿ったものになっているか。
 - 指標Ⅱ 再整理したカリキュラムのよさをどれだけ感じる事ができたか。
- 地域連携教育の推進体制

「長門スタイル」公民館型地域協育ネット

～地域の特色を生かして～



向津具小学校

向津具Wマラソン
ボランティア



児童・保護者・教職員が参加して、大浦地区エイドのボランティアを行った。

俵山小学校

「俵山に元気を届けようウォーク」



熟議から出た案をもとにつくりあげた行事。ゴミを拾いながら地域に挨拶や歌など元気を届けた。

三隅中学校

三隅地域クラブ
(バンドクラブ・イラストクラブ)



学校運営協議会主催の地域・保護者・生徒がともに活動できる2種類の地域クラブ活動が始まった。

日置中学校区

めざす子ども像に関する熟議



児童生徒と地域の方が、「自分も他人も大切にする日置っ子になるための取組」について熟議を行った。